

平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震、平成 23 年 3 月 12 日 03 時 59 分頃の長野県・新潟県境付近の地震、平成 23 年 3 月 15 日 22 時 31 分頃の静岡県東部の地震の揺れに関するアンケート調査結果の概要 (参考資料参照)

1. アンケート調査の概要

アンケート調査は平成 24 年 1 月から 3 月にかけて、東北地方太平洋沖地震等で震度 5 強以上を観測した震度観測施設から原則として半径 200m 内に居住する住民を対象におこなった。アンケート調査では揺れに関する設問アンケートを実施し、設問の回答から気象庁震度階級関連解説表の点検等をおこなった。

	対象施設数	配布アンケート数	有効回答率 (%)
東北地方太平洋沖地震	181	18,046	23.5
長野・新潟県境の地震	6	600	35.2
静岡県東部の地震	4	400	15.3

2. 気象庁震度階級関連解説表の点検結果、およびアンケート震度について

- ・アンケート調査から震度 5 強～6 強の気象庁震度階級関連解説表 (以下、解説表) の表現が妥当であるかどうかの点検をおこなった。点検項目は食器類の落下・破損、窓ガラスの破損、ドアの開閉困難、本などの落下、家具の動き、屋根瓦の落下、人の体感・行動についてであり、アンケートの回答を集計・分析し、解説表の記載内容と比較検討した。その結果、各点検項目と解説表の表現は概ね一致しており、平成 21 年に改定された現在の解説表の表現は概ね妥当と考えられる。
- ・アンケート震度*)は、東北地方太平洋沖地震では計測震度とよく一致し、ほとんどの観測点で±0.5 以内の震度差に収まった。

*)アンケート震度とはアンケート調査の設問に加重平均するなどの統計的処理を施して算出される震度

(太田・他(1998))